

第 10 回新型コロナウイルス感染症対策専門家会議
「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（2020 年 4 月 1 日）概要

状況分析

1. 国内（全国）の状況

今のところ諸外国のような、オーバーシュート（爆発的患者急増）は見られていないが、都市部を中心にクラスター感染が次々と報告され、感染者数が急増。医療供給体制が逼迫しつつある地域が出てきており医療供給体制の強化が近々の課題。

2. 海外の状況

欧州や米国では感染が爆発的に拡大し、世界の状況はより厳しい状況。

提言

1. 地域区分について

- 地域ごとのまん延の状況を判断する際に考慮すべき指標として、①新規確定患者数、②リンクが不明な新規確定患者数、③帰国者・接触者外来の受診者数等を提示。
- ①「感染拡大警戒地域」、②「感染確認地域」、③「感染未確認地域」の3つの地域区分ごとに、基本的な考え方や想定される対応を提示。
(別添参照)

2. 行動変容の必要性について

①「3つの密」を避けるための取組の徹底、②自分が患者になったときの受診行動等について指摘。

3. 地域の医療提供体制の確保について

①重症者を優先した医療提供体制の確保、②病院、施設における注意事項、③医療崩壊に備えた市民との認識共有について指摘。

4. 政府等に求められる対応について

休業等を余儀なくされた店舗等の事業継続支援や従業員等の生活支援など経済的支援策をはじめ、医療提供体制の崩壊を防ぐための病床の確保、医療機器導入の支援など医療提供体制の整備、重症者増加に備えた人材確保等に万全を期すべきと指摘。